

副首都推進本部（大阪府市）会議

《第 21 回議事録》

- 日 時：令和 8 年 3 月 26 日（木） 11：00～11：12
- 場 所：大阪府庁本館 1 階 大阪府議会第 1 委員会室
- 出席者：吉村洋文、横山英幸、山口信彦、森岡武一、渡邊繁樹、西山忠邦、高橋徹、
（名簿順）山本剛史、西島亨、大田幸子、長澤研一

（西島事務局長）

それでは、定刻となりましたので、第 21 回副首都推進本部（大阪府市）会議を開催させていただきます。

本会議につきましては、会議公開の原則にのっとり、会議の状況をインターネットで配信し、配付資料、議事録は公表することといたしておりますので、あらかじめご了承くださいませよう、よろしくお願いいたします。

初めに、本日の会議の出席者を紹介いたします。

本部長の吉村大阪府知事です。

副本部長の横山大阪市長です。

そのほかの大阪府、大阪市の出席者につきましては、お手元に配付しております資料 1 の出席者名簿のとおりでございます。

それでは、議題に移らせていただきます。本日の議題は、「副首都・大阪の実現に向けた進め方について」でございます。資料 2 の方でご説明をさせていただきます。

まず、おめくりいただきまして、1 ページでございます。副首都に関する府市議会のご議論の状況でございます。

府議会の方は、3 月 9 日に法定協議会関係の議案を提出いたしまして、延べ 9 名の議員の方からご質問をいただいております。結論としましては、今、継続審査というふうになっている状況でございます。

大阪市会の方は、議案の提出は行いませんでしたが、14 名の議員の方からご質問がありました。様々な議論が行われたということでございまして、今日は資料の方には、このうち、今後の進め方に関連するところを載せさせていただきます。

まず、大阪市会の方で、3 月 13 日の財政総務委員会ところで維新の高山委員の方から、副首都・大阪の実現に向けて、副首都推進局の庁内の体制を今後どのように充実・強化していくのかというご質問に対しまして、大阪が副首都としての機能を果たしていくためには、府市が一体の成長戦略を描き、そして都心部にしっかりと投資を集めて、うめきたや夢洲、森之宮というこの都心部に、府市一体となってランドデザインを描き、もって経済成長を誘発し、そして税収を上げていくという成長モデルを未来にわたって確固たるものにしなければならないと考えていると。

大阪が長年掲げてきた副首都について、与党間で本案の協議が進み、国の制度として副首都が確立されようとしている今、大阪が副首都としてふさわしい都市となるため、副首都構想や副首都にふさわしい行政体制について、更に検討を進めていく必要がある。このため、その中心を担う副首都推進局の体制強化を行っていくとの市長答弁でございます。

府議会の方では、3月19日の総務常任委員会におきまして、維新・角谷委員から、副首都・大阪の実現及び副首都にふさわしい行政体制の検討について、どのように進めていくのかというご質問に対しまして、吉村知事の方から、副首都・大阪の実現に向けて取り組むべき内容であったり、あるいは国に働きかけていく事項の整理、そして副首都にふさわしい行政体制の検討、これを着実に進めていく必要があると。

このため、4月に副首都推進局の職員を増員し、体制を強化する。また、その具体的な進め方については、今月中に副首都推進本部会議を開催して、横山市長と協議するというご答弁をいただいております。

続きまして、2ページの方で副首都に関する国会の動きといたしまして、まず、昨年10月に高市総理の所信表明演説におきまして、7 令和の国土強靱化対策のなかで、首都及び副首都の責務と機能に関する検討を急ぐとされたところでございます。

あと、続きまして、今年2月27日に与党の実務者協議会において、合意内容としまして、副首都の役割として、副首都地域については、首都機能のバックアップに加え、経済成長の役割（経済けん引機能）を担うこと。

副首都の数・要件につきましては、副首都は、複数地域で設置可能とする。副首都の指定要件は、大都市法の適用地域だけでなく、複数の方法で設置可能とする。

今後の進め方として、今国会での法案成立をめざすとなっております。

続きまして、3月17日、与党党首会談におきましては、副首都法案について、今国会中の成立をめざすことで一致されたところでございます。

3ページにまいりまして、今後の副首都・大阪の実現に向けた当面の進め方の案ということで、今回まとめさせていただいております。

まず、進め方でございますが、国における副首都法案の進捗状況を踏まえ、副首都・大阪の実現に向け、府市における検討を進めるということでございまして、具体的には、国に働きかける具体的措置の深掘りということで、規制緩和、財政支援、税制特例等となっております。

あと、副首都の指定要件に合致する行政体制の比較ですとか、ふさわしい行政体制の検討ということで、項目として考えてございます。

検討体制としましては、副首都推進本部（大阪府市）会議において、検討・協議を行うとしてはどうかと考えておりまして、メンバーとしましては、本部長、副本部長、副知事、副市長。必要に応じて、関係部局長の出席を求めること。検討内容に応じて、有識者もご出席をいただくこと。事務局としては、私ども副首都推進局で担うということ

を考えてございます。

この取組を進めるために、令和8年4月1日に府市ともに副首都推進局の体制を充実・強化するというところで、案としてまとめさせていただいております。

資料の説明は以上でございます。

それでは、副本部長、本部長の順にご発言をいただければというふうに思います。まずは、副本部長、よろしくお願いします。

(横山副本部長)

お疲れ様でございます。資料の方をまとめていただきまして、方向性も記載いただいているところです。

3ページに当面の進め方ということで、ここにまとまっているとおりにかと思いますが、まず、副首都・大阪という点は我々の悲願でもありますので、なんとしても進めていきたいと思っておりますし、この地元においても、準備を万全にしておく必要があると考えております。

府市で取り組んでもらいたいことということで、進め方にも書いておりますが、この国に働きかける具体的措置の深掘り、調査、検討、整理につきましては、これをしっかり進めてほしいと思います。我々がどういった形で、副首都として本来担うべきなのか、その能力を発揮するためにどういったことを国と進めていかないといけないのかという点について、更なる深掘りをお願いしたいと思っております。

そして、副首都の要件でもありますが、このふさわしい行政体制の検討、これも進めてほしいと思います。副首都が担うべき広域行政は何か。また、府と市の事務がどういった整理になるのか。そして、それらを実施するための組織体制はどのようにあるべきかというところが、こういった検討が必要になってくると思っております。

加えまして、この検討にあたっては、副首都にふさわしい事務の洗い出しやこの作業が必要になりますので、ここに書いておりますが、4月1日に、この副首都推進局の体制を充実・強化、これをしてほしいと思っております。

副首都推進局が中心となって、今申し上げたような調査・検討に従事をしてほしいと思っておりますし、市の各局の方も主体的にこの検討を、またスピード感を持って進めてほしいと思っております。よろしくお願いします。

(西島事務局長)

ありがとうございます。続きまして、本部長、お願いいたします。

(吉村本部長)

事務局の皆さんから説明あったとおり、大きな動きとして、国において、副首都をめざしていくんだということが明確になったと。これは非常に大きな動きだというふうに

判断しています。

副首都法案について、与党の協議が進んでいると。そして、今国会での成立をめざすと。その準備が進められています。まさに国の大きな方向性として、副首都を制度として確立しようとしていているところでもあります。

そのなかで、大阪府市はこれまで、副首都・大阪の実現にも取り組んできました。である以上、大阪として明確に副首都をめざすべきだと思います。

そのうえで、今、国会で副首都法案が審議を今後されることになり、また成立に向けた動きが進んでいる今こそ、副首都・大阪の実現に向けた歩みというものを、府市において遅滞なく進めてもらいたいと思いますし、その時期だというふうに判断をしています。

府においても、4月1日に副首都推進局の体制を強化・充実させます。副首都推進局で、大阪が副首都をめざすにあたっての国に働きかける具体的事項の整理、また府市の施策の検討。さらに、この副首都の要件ともなる副首都にふさわしい行政体制についての調査・検討。これを進めてもらいたいと思います。

そういった内容について、来年度当初から随時、副首都推進本部会議において、市長とも協議をしながら府市で進めていければと思っています。副首都推進局中心となって、府市一丸となって取り組んでもらいたいと思いますから、よろしくをお願いします。

(西島事務局長)

ありがとうございます。

このほか、ご出席の皆様からもしご発言あれば、よろしくをお願いします。

そうしましたら、本日の内容をまとめますと、先ほど3ページの方で、当面の進め方というところでまとめさせていただきましたとおり、今後、国における副首都法案の進捗状況を踏まえまして、国に働きかける具体的措置の深掘りですとか、副首都の指定要件に合致する行政体制の比較、ふさわしい行政体制の検討を、この副首都推進本部会議の場で、スピード感を持って随時、府市で協議しながら進めていくということによろしいでしょうか。

(吉村本部長)

はい。

(横山副本部長)

はい。

(西島事務局長)

ありがとうございます。本日は以上となります。誠にありがとうございました。

引き続き、囲み取材を行います。知事、市長におかれましては、準備が整いますまで控え室にご移動をお願いします。報道の皆様につきましては、担当職員から指示がございますまで、しばらくその場でお待ちください。副知事、副市長におかれましては、お忙しいところご出席いただきましてありがとうございました。ご退室いただきまして結構でございます。